



平成24年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年9月28日

上場会社名 テクノアルファ株式会社 上場取引所 大
 コード番号 3089 URL <http://www.technoalpha.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青島勉
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 安積良典 (TEL) (03) 3492-7421
 経営企画室 マネージャー
 四半期報告書提出予定日 平成24年10月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年11月期第3四半期の連結業績(平成23年12月1日～平成24年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年11月期第3四半期	2,242	31.4	206	347.4	316	106.3	148	63.3
23年11月期第3四半期	1,706	△20.2	46	△79.4	153	△38.8	90	△29.4

(注) 包括利益 24年11月期第3四半期 163百万円(98.1%) 23年11月期第3四半期 82百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年11月期第3四半期	69.93	—
23年11月期第3四半期	41.05	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年11月期第3四半期	2,206	1,594	72.3
23年11月期	2,269	1,506	66.4

(参考) 自己資本 24年11月期第3四半期 1,594百万円 23年11月期 1,506百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年11月期	—	0.00	—	21.00	21.00
24年11月期	—	0.00	—	—	—
24年11月期(予想)	—	—	—	27.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成24年11月期の連結業績予想(平成23年12月1日～平成24年11月30日)

平成24年11月期通期連結業績予想については、開示していません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年11月期3Q	2,316,000株	23年11月期	2,316,000株
② 期末自己株式数	24年11月期3Q	200,110株	23年11月期	160,110株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年11月期3Q	2,123,994株	23年11月期3Q	2,215,481株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○目 次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	4
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	4
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	5
2. サマリー情報（その他）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
(4) 追加情報	5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) セグメント情報等	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
5. 補足情報	12
仕入、受注及び販売の状況	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、引き続き米国景気の減速懸念や欧州における財政不安に加え、中国などの新興国での成長鈍化など、世界経済全体に先行き不透明な状況が続いております。また、東日本大震災の影響からの緩やかな回復途上にある日本経済においても、世界的な景気減速や歴史的な円高を受け、先行きに慎重な見方が広がりつつあります。

当社グループの当第3四半期連結累計期間における業績につきましては、日本経済の回復傾向を受け、前連結会計年度後半に発生したタイにおける洪水による影響は若干残るものの、東日本大震災発生以前の状況に戻ってまいりました。この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は2,242,931千円（前年同四半期比31.4%増）、営業利益は206,890千円（前年同四半期比347.4%増）、経常利益は316,624千円（前年同四半期比106.3%増）、四半期純利益は148,538千円（前年同四半期比63.3%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①半導体装置事業

当事業においては、当社の主力商品であるワイヤボンダーに代表される半導体製造装置やそれに付随する消耗品等を海外より仕入れ、当社が搬送装置等の付加価値を加えるなどした上で、国内の顧客に販売しております。当第3四半期連結累計期間においては、東日本大震災からの回復基調を受け、装置に付随して使用される消耗品の売上・利益が伸張したものの、装置本体については、検収案件が第4四半期に集中する見込みであり、低調に推移いたしました。この結果、売上高は700,688千円（前年同四半期比17.0%減）、営業利益は193,335千円（前年同四半期比75.4%増）となりました。

②電子材料・機器事業

当事業においては、エレクトロニクスメーカー向けの材料、大学・研究所向けの研究開発用の小型の機器等を国内外から仕入れ、販売しております。当第3四半期連結累計期間においては、東日本大震災からの回復基調を受け、堅調に推移いたしました。前連結会計年度において不調であった液晶関連の材料についても売上高が大幅に伸張したものの、売上高総利益率が低く、利益面で低調に終わりました。この結果、売上高は581,341千円（前年同四半期比7.3%増）、営業損失は750千円（前年同四半期は17,939千円の営業利益）となりました。

③マリン・環境機器事業

当事業においては、マリン事業では、大型船舶向けの救命艇を国内メーカーより仕入れ、造船所に販売、ならびに環境機器事業では、液体の濃縮・分離を行うためのフィルター等を海外より仕入れ、エンジニアリングを行った上で国内の顧客に販売しております。マリン事業については、海外向けのダビットなど大型案件の検収がなされたため、利益が伸張いたしました。環境機器事業については、受注案件が少なく、当第3四半期連結累計期間においては低調に推移いたしました。この結果、売上高は34,836千円（前年同四半期比6.0%増）、営業利益は47,353千円（前年同四半期は5,919千円の営業損失）となりました。

④S I 事業

当事業においては、前第4四半期会計期間より連結子会社となった株式会社ペリテックが、計測・検査システムを顧客から受託し、自社でハードウェア技術とソフトウェア技術を融合した計測・検査システムに仕上げ、顧客に販売しております。当第3四半期連結累計期間においては、大口の受注案件の検収がなされ、好調に推移いたしました。この結果、売上高は613,397千円、営業利益は61,269千円となりました。

⑤その他

当事業においては、上記4事業で取り扱いのない商品を販売し、また、新規の商品の開発を行っております。当事業の売上高は23,293千円（前年同四半期比355.8%増）、営業利益は2,261千円（前年同四半期は1,347千円の営業損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は2,206,961千円（前連結会計年度末比62,400千円の減少）となりました。これは主に、現金及び預金の減少276,995千円、受取手形の増加128,508千円、売掛金の増加74,493千円、商品の増加22,917千円及びのれんの減少13,756千円によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は1,594,644千円（前連結会計年度末比87,946千円の増加）

となりました。これは主に、四半期純利益148,538千円が計上された一方で配当金の支払45,273千円及び自己株式の取得30,496千円が行われたことによるものであります。

(自己資本比率)

当第3四半期連結会計期間末における自己資本比率は72.3% (前連結会計年度末比5.9ポイント増) となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年11月期通期の連結業績予想については、現時点で合理的な通期の業績予想の算定が困難なため、開示しておりませんが、予想の開示が可能となった時点で速やかに開示します。なお、当第3四半期連結会計期間以降の売上見通しの参考として、12ページ「5. 補足情報 仕入、受注及び販売の状況 (2) 受注状況」をご覧ください。

2. サマリー情報 (その他) に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	672,077	395,082
受取手形	70,734	199,243
売掛金	501,993	576,486
有価証券	10,000	16,021
商品	257,216	280,134
仕掛品	35,461	33,406
原材料	3,580	519
その他	57,133	49,720
貸倒引当金	△310	△332
流動資産合計	1,607,886	1,550,281
固定資産		
有形固定資産	189,643	195,265
無形固定資産		
のれん	99,483	85,726
その他	13,283	12,225
無形固定資産合計	112,767	97,952
投資その他の資産		
投資有価証券	211,217	273,568
その他	147,846	89,893
投資その他の資産合計	359,063	363,461
固定資産合計	661,474	656,679
資産合計	2,269,361	2,206,961
負債の部		
流動負債		
買掛金	316,512	344,147
1年内返済予定の長期借入金	7,284	7,284
未払法人税等	62,168	38,666
賞与引当金	4,166	10,100
その他	83,060	65,758
流動負債合計	473,191	465,956
固定負債		
長期借入金	42,252	36,789
退職給付引当金	25,866	35,680
役員退職慰労引当金	206,134	59,325
資産除去債務	—	2,887
その他	15,220	11,679
固定負債合計	289,472	146,361
負債合計	762,663	612,317

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,210	100,210
資本剰余金	121,646	121,646
利益剰余金	1,426,079	1,529,344
自己株式	△112,329	△142,826
株主資本合計	1,535,606	1,608,374
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△22,239	△13,101
繰延ヘッジ損益	△6,669	△627
その他の包括利益累計額合計	△28,908	△13,729
純資産合計	1,506,698	1,594,644
負債純資産合計	2,269,361	2,206,961

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年8月31日)
売上高	1,706,833	2,242,931
売上原価	1,229,653	1,498,721
売上総利益	477,180	744,209
販売費及び一般管理費	430,933	537,319
営業利益	46,247	206,890
営業外収益		
受取利息	3,957	2,016
受取配当金	1,778	1,946
保険返戻金	136,103	106,100
その他	614	12,035
営業外収益合計	142,452	122,098
営業外費用		
支払利息	127	769
投資有価証券売却損	119	931
為替差損	32,970	9,352
その他	2,018	1,310
営業外費用合計	35,235	12,364
経常利益	153,463	316,624
特別利益		
貸倒引当金戻入額	45	—
特別利益合計	45	—
特別損失		
固定資産売却損	79	—
投資有価証券評価損	—	8,993
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	3,075	—
役員退職慰労金	—	44,859
特別損失合計	3,154	53,852
税金等調整前四半期純利益	150,353	262,771
法人税、住民税及び事業税	53,111	72,002
法人税等調整額	6,285	42,230
法人税等合計	59,397	114,233
少数株主損益調整前四半期純利益	90,956	148,538
四半期純利益	90,956	148,538

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	90,956	148,538
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,949	9,137
繰延ヘッジ損益	2,629	6,041
その他の包括利益合計	△8,320	15,178
四半期包括利益	82,636	163,716
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	82,636	163,716
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自平成22年12月1日至平成23年8月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	半導体装置 事業	電子材料・ 機器事業	マリン・ 環境機器 事業	S I 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	844,159	541,555	316,008	—	1,701,723	5,110	1,706,833
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	844,159	541,555	316,008	—	1,701,723	5,110	1,706,833
セグメント利益又は損失 (△)	110,241	17,939	△5,919	—	122,262	△1,347	120,914

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、報告セグメントで取り扱わない商品を販売し、また、新規の商品の開発を行っております。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	122,262
「その他」の区分の利益	△1,347
全社費用（注）	△74,666
四半期連結損益計算書の営業利益	46,247

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自 平成23年12月1日 至 平成24年8月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	半導体装置 事業	電子材料・ 機器事業	マリン・ 環境機器 事業	S I 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	700,688	581,341	334,836	602,772	2,219,638	23,293	2,242,931
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	10,625	10,625	—	10,625
計	700,688	581,341	334,836	613,397	2,230,263	23,293	2,253,556
セグメント利益又は損失 (△)	193,335	△750	47,353	61,269	301,208	2,261	303,469

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、報告セグメントで取り扱わない商品販売し、また、新規の商品の開発を行っております。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	301,208
「その他」の区分の利益	2,261
全社費用（注）	△96,579
四半期連結損益計算書の営業利益	206,890

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(追加情報)

S I 事業は、前第4四半期連結会計期間より連結子会社となりました株式会社ペリテックが行っている事業であり、当該セグメントを新設しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

第1四半期連結会計期間において、平成24年1月13日開催の取締役会決議に基づき、自己株式を40,000株、30,496千円取得いたしました。なお、当第3四半期連結会計期間末における自己株式は200,110株、142,826千円となっております。

5. 補足情報

仕入、受注及び販売の状況

(1) 仕入実績

当第3四半期連結累計期間における仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	仕入高(千円)	前年同期比(%)
半導体装置事業	359,542	△46.7
電子材料・機器事業	457,096	+8.4
マリン・環境機器事業	231,430	△15.1
S I 事業	—	—
その他	17,301	+430.4
合計	1,065,370	△22.3

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しておりません。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

当第3四半期連結累計期間における受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
半導体装置事業	843,518	△13.6	316,227	+19.8
電子材料・機器事業	609,429	+7.2	150,115	+0.1
マリン・環境機器事業	352,284	+1.4	352,277	△7.6
S I 事業	625,780	—	196,779	—
その他	35,267	+570.5	13,018	+5,107.2
合計	2,466,281	+30.0	1,028,417	+29.3

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しておりません。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同期比(%)
半導体装置事業	700,688	△17.0
電子材料・機器事業	581,341	+7.3
マリン・環境機器事業	334,836	+6.0
S I 事業	613,397	—
その他	23,293	+355.8
合計	2,253,556	+32.0

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しておりません。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。